研修所月報 vol.1

山梨県市町村総合事務組合
山梨県市町村職員研修所

はじめに

暑さがますます厳しくなってきており、夏真っ盛りといった日々が続いております。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今年も連日のように夏日・真夏日を記録しており、体調を崩しやすい状況かと思います。どうかご自愛ください。

さて研修の実施状況をお伝えしております研修所月報は、年３回の発行となります。本月報が今年度の最初の発行となります。これからも有意義な研修の実施、情報発信ができますよう尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

研修レポート

令和７年度の研修は、４月８日に実施をしました新任職員を対象とした「期待される公務員」を皮切りに予定通り実施をしております。

いくつかの研修をピックアップして、内容や研修の雰囲気をご紹介いたします。

１．コミュニケーション力向上研修 ≪対象者：新任職員≫

４月１６，１７，１８日の３日間に分けて、「コミュニケーション力向上研修」を実施しました。昨年度まで「接遇の基礎」として実施していた研修を、接遇のみではなく、職場における住民や上司・同僚とのコミュニケーションという内容を含めたカリキュラムに組みなおした内容となっています。

社会人経験の浅い職員も転職により社会人経験のある方も、一緒になって公務員として必要な住民対応の基礎を積極的に学んでいただきました。

２．施策作成研修 ≪対象者：新任職員≫

５月１３日から３回に分けて、１泊２日の「施策作成研修（宿泊研修）」を実施しました。今年度は２２３名の新任職員の方にご参加いただきました。この施策作成研修は、

（１）組織における規律や協調性を理解し、円滑な人間関係を築くための知識と技術を身に付ける。

（２）自治体の枠を越えた人材交流によって、横のつながりを強化し、広域的連携を構築する。

（３）行政課題について調査・研究を行い、研修生の能力向上を図る。

以上の３点を目的とし、異なる自治体職員とグループとなり、与えられたテーマにて行政課題に取り組む研修となっています。

令和７年度は「観光を活用した地域活性化策」をテーマとして、グループごとに施策の目的、概要、予算及び効果まで検討をし、最後に発表を行いました。皆さん２日間という限られた時間の中で、お互いの長所や得意な分野を活かしながら、丁寧かつ熱心に議論を重ね、積極的に研修に臨んでいました。

なお、本研修は富士吉田市内にあります（一財）人材開発センター富士研修所で実施をしました。

施策作成研修【第１班】≪５月１３日（火）１４日（水）≫

○各班の内容

１班：『よってけし！山梨市』

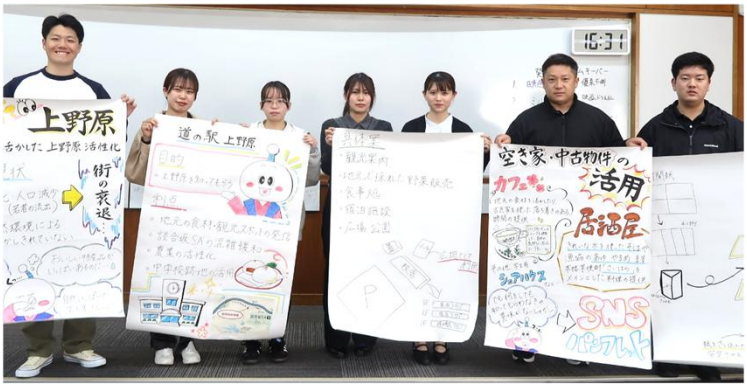
「街の駅やまなし」を中心に、特産品やキッチンカーを用いて、駅周辺へ観光客を呼び込む施策。公共交通機関を利用することで、自家用車のない方も集客ができる。

２班：『MINOBU ART STREET ～山のまちに、アートが歩く～』

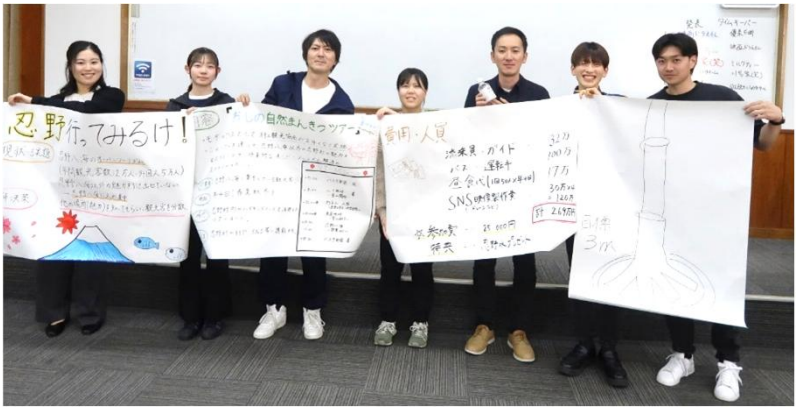
町内にアート作品を展示することにより、アートを通じて観光客の集客及び地域の活性化を図る施策。アトリエとして空き家を格安で提供することで定住者を増やすことも目指す。

３班：『いっぱいみつけて上野原　観光を活かした上野原活性化』

中学校跡地を道の駅として活用し、地元の観光スポット等を発信するための拠点とする施策。地元食材を用いた食事処とも連携をし、より多くの方へ上野原の周知を行う。



４班：『忍野行ってみるけ！』



忍野村の自然を満喫できるツアーを企画し、忍野八海以外の忍野にある魅力の周知及び忍野八海への観光客の一極集中を分散させることを目指す。

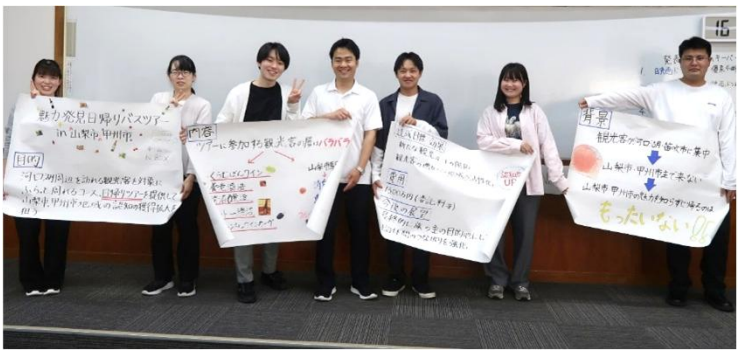
施策作成研修【第１班】≪５月１３日（火）１４日（水）≫

○各班の内容

５班：『廃校を改良してサイコー！！』

甲州市の廃校となった中学校を活用した宿泊施設として活用をする。宿泊を伴う観光の拠点とすることで、周辺観光スポットへの観光客の増加を見込む。

６班：『魅力発見日帰りバスツアー in 山梨市・甲州市』



ワイナリーをめぐるコースや家族で楽しめるコースなどツアーを複数用意し、多くのニーズに対応したツアーにより観光客の集客及び町の周知を目的にした施策。

７班：『笛吹市 石和温泉ホットスポット計画』

温泉街の外観の統一やお土産屋・飲食店を誘致することで観光客の集客を目指す。温泉街にてすべてが完結するようにすることで、温泉街に来ること事態を目的としてもらう。

８班：『せっかくだったら泊まっててよ 山梨』

身延町の宿泊施設や南アルプス市の「fumotto」を拠点とした他市町村の観光地へ繋げる観光拠点を整備する施策。観光客と地元住民が交流することで山梨全体の活力向上を図る。

施策作成研修【第１班】≪５月１３日（火）１４日（水）≫

○各班の内容

９班：『日本のheso』

リニア開通による山梨県への来訪者を継続的な観光客として集客できるように、中央市の資源を用いて年間を通じた体験型のイベントやツアーを実施する施策。

１０班：『北杜市補完計画』

既存の都心から富士吉田市までのツアーを北杜市まで延伸する観光バスツアーの企画を行う。またインフルエンサーによるSNSを活用したPRにより市の魅力を周知していく。

第１班で優秀賞に輝いたのは、５班と９班でした。

５班は廃校を活用するという案やイラスト等を多く用いたわかりやすいプレゼンテーションが多くの方に響いていました。

９班はデータに基づく説得力と班員が一丸となりプレゼンテーションに臨んでいる姿が優秀賞へと結びついていました。

両班ともに、プレゼンテーションのみならず、質疑応答の場面でも、堂々とした回答をしていました。優秀賞を決める審査においては、審査員の評価はもちろんのこと、発表を聞いた他の班からの投票でも多くの票を集める結果となりました。

施策作成研修【第２班】≪５月１９日（月）２０日（火）≫

○各班の内容

１班：『バレンタインは笛吹へ　～ワインとスイーツで町おこし～』

２月に観光客が少ないことに着目しバレンタインシーズンに、市内の宿泊施設やお菓子メーカーと協力して、オリジナルのワインやチョコレートを販売し観光客の集客を目指す。

２班：『混雑する観光地にゆとりを　～富士吉田から始める新しい移動のカタチ～』

観光地を周回する新たな路線バスを運行する。地元住民の利用するバスとの差別化により、利用者同士混雑の緩和や観光スポットの分散を図る。

３班：『学校へ行こう！　～廃校を利用した新たな観光スポット～』

富士河口湖町の廃校となった西浜中学校をイベントのできる宿泊施設として活用する施策。河口湖の観光客集中地域から離れており、観光客の分散や宿泊費用の低コスト化を目指す。

４班：『スタンプ集めて南プスフルーツもってけし！』

コストコができたことにより増加した観光客へスタンプラリーを実施して、観光客の分散、市の周知を図る施策。市内の果物を景品とし、果物の需要の増加も目指す。

施策作成研修【第２班】≪５月１９日（月）２０日（火）≫

○各班の内容

５班：『山梨弁当　～リニア山梨県駅を通過点にはさせない～』

リニア中央新幹線を利用者へ山梨の食材を使用したお弁当によって、山梨のＰＲを行う施策。多くの利用者がいると見込まれるため、山梨の知名度のさらなる向上を目指す。

６班：『リニアを活かした町づくり　～中央市の魅力を発進～』

リニア中央新幹線で山梨県を訪れた観光客へレンタル自転車やバスツアーによって、中央市を知ってもらう。観光ルートマップも作成し、観光客の増加を目指す。

７班：『北杜市だれでも！たのしく！げんきに！農業体験ツアー』

長期と短期、２種類の農業体験ツアーを実施し、ツアーをきっかけに移住・定住者の増加を目指す施策。長期体験では空き家で宿泊をし、空き家の有効活用、農業の担い手育成にも貢献する。

８班：『お得に満喫♪　ほくとくスタンプラリー』

北杜市内で獲得できるデジタルスタンプラリーを企画する。スタンプのジャンルを分けることで、様々な施設へ足を運んでもらい観光客の増加を目指す。

施策作成研修【第２班】≪５月１９日（月）２０日（火）≫

○各班の内容

９班：『選べるほくと４ツアー』

市内観光会社と協働で、家族向け・大人向けや宿泊をするかどうかなど、多数のツアーを企画する。ニーズに合わせた異なるツアーにより北杜市の魅力を周知し、観光客の増加を目指す。

１０班：『COCO.map　～オーバーツーリズムソリューションの為のアプリ開発～』

観光地の混雑状況や観光スポットのわかるアプリを開発する。様々な観光スポットへ観光客の分散を図り、オーバーツーリズムの解消、地域住民の生活の快適性の向上を目指す。

第２班で優秀賞に輝いたのは、３班と８班でした。

３班は自治体のエリアごとの課題に焦点をあて、解決案を模索している点に高く評価が付きました。

８班は費用まで丁寧に算出した、地域を巻き込む実現可能性の高い施策であることに多くの支持が集まりました。

施策作成研修【第３班】≪５月２６日（月）２７日（火）≫

○各班の内容

１班：『つながる！観光バスでぐるり旅！』

富士吉田市内を周遊する観光バスを運行する施策。観光客の滞在時間の増加や人気観光スポットから観光客の分散を図る。また交通の利便性向上による観光客と住民の分離による地域活性化へ繋げる。

２班：『都留市チャンバラ大会 ～富士吉田・河口湖のインバウンドを取り込もう！！～』

外国人観光客をメインターゲットとしたチャンバラ大会を年４回開催する。市内にある大学の学生と共同で実施することにより、地域の活性化を目指す。

３班：『南プスよってけし～』

南アルプス市を堪能できる様々な周遊コースを作成する。コストコ開業による人流を活かし、市内の観光スポットの周知と観光客が多くの場所を訪れることによる地域の活性化を目指す。

４班：『地酒と陶芸で感じる北杜の暮らし』

空き家を宿泊施設として活用し、外国人観光客向けに「陶芸・地酒・地元食材」を提供する１泊２日の体験型宿泊ツアーを実施する施策。観光客の減少する冬期に開催することで通年での集客を目指す。

施策作成研修【第３班】≪５月２６日（月）２７日（火）≫

○各班の内容

５班：『都留市 勝山城復興プロジェクト』

城下町である都留市の認知度を高めるため、勝山城を都留市のシンボルとし、観光客と住民の交流の場とする施策。既存の「つるのルーツ」のポイントを獲得できるイベント等を企画し、観光客を誘致する。

６班：『ひがしやまなし果景プロジェクト

おいしいモノ食べてあったまってけし～』

東山梨地域で冬の夜に地元の果物と景色を活かしたイベントを実施する。観光客の集客及び夜間のイベントのため、宿泊需要による経済効果上昇も期待できる。

７班：『キャンプの聖地 ～新たなる挑戦へ～』

道志村のキャンプ場等を活用してグランピング体験ツアーを企画する。キャンプ場周辺でのアクティビティや特産品の提供を行うことにより、道志村の魅力の発信へ繋げていく。

８班：『都留で旅育やりませんか』

都留市の自然を活用して、３歳～９歳の子どもとその保護者を対象に体験型の教育プログラムを提供する。自然を通じての学び・成長できる機会を作り、都留市の周知や魅力を発進していく。

施策作成研修【第３班】≪５月２６日（月）２７日（火）≫

○各班の内容

９班：『くだものだけじゃない！！入ってあてよう湯めぐりスタンプラリー』

山梨市・笛吹市の温泉施設を巡るスタンプラリーを企画する。必ず両市にある温泉施設を巡ることとし、両市が経済効果を得られることによる活性化を目指す。

１０班：『やまなし No food No life フェスティバル～まだ知らない山梨が～』

河口湖周辺にて、県内全域から特産品や特産品を利用した料理を提供・紹介するグルメイベントを開催する施策。観光客をターゲットに県内全域の周知を目指す。

１１班：『広域的な観光資源の活用 ～ゼロネットワーク～』

複数市町村にまたがる広域的な周遊ルートを作成する施策。いくつかのルート作成し、それぞれの観光資源を活かすことにより観光客の集客増加を目指す。

１２班：『一期一会 ～人と人の出会いを生みだそう～』

空き家を宿泊施設に改装し、観光客の集客を行う。また、季節ごとにマルシェを開催したり、交通インフラを整備することで観光のしやすい環境を整えることで集客につなげていく施策。

施策作成研修【第３班】≪５月２６日（月）２７日（火）≫

第３班で優秀賞に輝いたのは、４班と８班でした。

４班は空き家や地元食材・地酒等、既存の観光資源を最大限に活かした施策に高い評価がつきました。

８班はターゲット層を明確にした魅力的かつ実現可能性の高い内容に多くの支持が集まりました。

３．Microsoft Word・Excel講座 ≪対象者：全職員≫

７月１日（火）から８月３１日（日）までの期間、動画配信形式による研修を実施しています。日常の業務で広く使用されているMicrosoft Word及びExcelは職員にとって必須のスキルではないでしょうか。

業務の中で活かすことのできるショートカットキーやExcelの関数など、身に着けることで業務の効率化や時間短縮を目指すことができます。

また、本研修はYouTubeを使用した動画配信形式ですので、公開期間内であれば、２４時間いつでもどこでも視聴し、学ぶことが可能となっています。

８月３１日まで、まだ期間もありますので、お申込みいただいた方は積極的にご視聴をお願いいたします。

今後のイチ押し研修

①山梨の人口減少下における政策立案研修【県職員研修所合同研修】

（１）日時

<必須>　９月　５日（金）、１０月２８日（火）９：３０ ～ １６：３０

<任意>　９月１２日（金）※作業日のため

（２）内容

令和５年７月に山梨県知事及び２７市町村長が「やまなし人口減少危機突破共同宣言」を発出しました。その背景には、結婚や子どもを望んでも、経済的な不安定さ、子育ての負担感、出産・育児・仕事の両立の難しさなど様々な要因から「希望がかなえられない」という、県民の社会に対する悲観的なとらえ方があります。また、若者の大都市圏への転出といった現状にも向き合わなければなりません。この危機的な状況の中、自治体職員に求められるのは、人口減少の中にあっても質の高い行政サービスを提供し、自治体の魅力をより高めていくことです。

この研修では、県と市町村が協力して、政策立案のプロセスを演習を通じて学びます。

②業務改善（ＢＰＲ）研修

（１）日時

１班：　８月２９日（金）１１：００ ～ １６：００

２班：１０月　７日（火）１１：００ ～ １６：００

３班：１１月　７日（金）１１：００ ～ １６：００

（２）内容

自治体の抱えている業務は常に変化しており、業務内容も複雑化・多様化が進んでいます。さらに職員数の減少も影響し、職員１人あたりが抱える業務量は増加の一途にあります。その中で今後も適切な行政サービスを提供していくためには業務内容や手法を見直す必要があります。

本研修では自身の業務に適した業務改善（ＢＰＲ）を体験し、職場の業務改善に必要な知識を実践的に習得するとともに、業務改善の第一歩を踏み出すことを目指します。

なお、本研修は総務省の「地域社会ＤＸ推進パッケージ事業（推進体制構築支援）」を活用した研修です。

※どちらの研修も、ご希望の方は貴団体の
人事担当者様にお申し出ください。